### 大使からの活動報告 2016 年 11 月号:

# (天皇誕生日祝賀レセプション・公館長表彰他)

2016 年 11 月 30 日 在グアテマラ日本大使 川原 英一

#### ◆日本人学校第39回運動会



例年 11 月に日本人学校運動会が行われており、今年は 39 回目を迎えました。オーストリー校の広い運動場をお借りして、父兄・協力隊員を含めると 100 人を超える参加者がありました。





入場行進、児童・生徒による紅白応援合戦から始まり、紅白玉入れ、紅白綱引き、紅白対抗リレーなど各種競技があり、そして、恒例の1千メートル走にまで多くの皆さんが挑戦をされていました。児童・生徒ばかりでなく、父兄・協力隊員が参加して大熱戦

を繰り広げ、大いに盛り上がりました。その後、日本人会会長の松田・丸紅駐在事務所 長にアレンジを頂き、秋祭りが併せて実施され、児童・生徒、参加者全員にとって、大 変に楽しい1日となりました。

## ◆デル・バジェ大学モレノ学長の来訪



11月9日、モレノ学長及び大学事務局職員が当館にお越しになり、明年1月上旬に予定されているデル・バジェ大学主催の2014年ノーベル・物理学賞を授与された天野名古屋大学教授による講演会の準備についてお話を伺い、当方から御助言を差し上げました。

モレノ学長(左写真左側の方)は、欧州での学会参加の折、天野教授とお会いされて、同大学で 1 月から始まる新学期の最初の講演をお願いしたところ、その後、天野教授から御承諾を経て、実現することになったとお聞きしました。天野学長の受け入れに大学側として万全を期したいとのことで、当方もご相談を頂きました。モレノ学長は、明年1月の天野教授の講演を大変心待ちにされておられます。この機会に、毎年実施しているポストグラデュエート研究コースの文科省国費留学生試験にデル・バジェ大学卒業生が合格し訪日していること、金沢大学と同大学との学術交流の発展などについて懇談

も致しました。

#### ◆ドンボスコ職業訓練センター所長の来訪

10 日、アンブローシオ同センター所長が大使館を来訪されて、お話を伺う機会があり

ました。同センターへ我が国から職業訓練のための金型機械などを過去支援した関係があり、当方も昨年に同施設を訪問したところです。その後も日本文化紹介を大使館職員が実施しています。同センターは貧困層住民が多く住む地域にあり、貧困層家庭の子供達に職業訓練の機会を与えています。やる気さえあれば、学力は問わないという精神で経営し、子供達に道徳心も持つよう教えているのだそうで



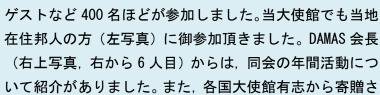
す。最近の技術進歩があり、職業訓練の内容・施設を変えて行かなくてはならないのが、 一番の課題であるとのお話も伺いました。

### ◆外交団夫人会主催のチャリティー・ガラナイト

例年恒例の行事として行っております DAMAS (外交団夫人会) 主催チャリティー・ガラ・ナイトが、11 月 11 日夜に市内ホテルでありました。DAMAS では、毎年、当国の病院等社会福祉施



設への寄付活動を行っています。 今回も各国大使館及び同大使館



れた品物のサイレント/オークションも行われました。これら全収益は当国での社会福祉活動へ充当されます。







15日公邸で、公館長表彰式を行いました。授賞式には、 訪日研修の経験をお持ちのチャン・エネルギー大臣やモイール・開発企画庁長官のご出席も得ました。今年の受賞者は、AGUABEJA(元研修員の会)会長であり、元国費留学生でもあるグレンダ・マルティネス博士です。同人は、サンカルロス大学医学部卒業後、長崎大学医学部に研究留学して日本に6年滞在、その後、JICA 当国事務所にも15年勤務された方です。

また、訪日研修員としても熱帯 病関連の研修を受けておられま す。グアテマラに帰国後、地域ク リニックを開設して、地域の住民

の健康増進を図ったり、国内各地で日本の生活改善の考え方



の普及活動を積極的に長年行って下さっています。地方で の生活の中から、工夫して少しでも便利なことを取入れた り、地域住民が出来る付加価値の付いた事業活動などを奨 励されておられます。また、各地の大学・学校・自治体な どと連携して生活改善と日本文化の紹介をして来られま した。今年の当大使館と当地主要大学であるランジバール 大学との共催「日本週間」行事でも、学生一般の方々に生

活改善に関するわかりやすいプレゼンを行いとても評判となりました。また、ランジバ



ール大学の日本語講座立ち上げに協力して、自らボランテ ィアで日本語講師をされるなど活動の範囲は幅広く、日本 と当国との相互理解を大いに深めて頂いております。マル ティネス博士よりは、今回の受賞を励みに今後さらに積極 的に活動して参りたいとの受賞挨拶がありました。その後, チャン・エネルギー大臣 (左最上段写真の方) に乾杯とご

挨拶を頂きました。

受賞式には、当地の TV や新聞関係者も取材に来て、当方、チャン大臣、受賞者との インタビューもありました。式典終了後のブッフェ懇談の機会には、御来訪頂いたチャ







モイール



RECONOCIMIENTO

長官(左側写真,真ん中の方)に、日本が長年進め てきた各種研修, 今後の技術協力, 協力隊員の国内 各地での活躍などについて当方からお話しして、チ

ャン・エネルギー大臣、モイール開発企画庁長官のお二人からは、日本で研修された折

の体験、日本食についての楽しい感想など伺いました。

### ◆当方の各国大使との離任式:

11 月 22 日、バチカン大使主催で各国大使を招いて、当 方の離任式がありました。

これまでも活動報告で紹介しましたが、離任式の場所で あるバチカン大使公邸の大広間には、数多くの宗教絵画



が壁面を飾っています。この場所で離任間近の大使に対するセレモニーを行うことが恒例になっています。 外交団長であるテベニン・バチカン大使から当方の経歴・当国での活動などの御紹介を頂いた上で、特に日本のグアテマラへの支援について触れられ、



日本は、貿易・投資に専ら関心があるという一般的印象を 打ち消されて、当国の地方、貧困層を中心とした生活向上 に向けた支援、各分野の人材育成について極めて思慮深く 行っており、しかも、良い成果を上げていることを評価し ているとの異例の御発言を頂きました。

日本が、長年にわたり地道な協力を行い、良い仕事をしているとの認識を、各国大使の前で改めて述べて頂けまし

た。バチカン大使は、地方に強大な教会組織と情報網を有しておられます。このような大使から我が国の当国への協力に対して高い評価を頂いたことに感謝を申し上げました。また、2020年の東京オリンピックの機会に同僚大使の日本訪問をお待ちしていると当方からの希望も申し上げました。



# ◆天皇誕生日祝賀レセプションの実施

30 日午後,市内ホテルでの天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。当地では12 月はバカンスの時期と重なるため,毎年,早めの日程でのレセプション開催をしています。 グアテマラ政府を代表してカブレラ副大統領(左写真)が,また,モレノ社会開発大臣,チア文化大臣,モイール開発企画庁長官,外遊中のモラレス外務大臣の代わりにディエゲス及びカスティージョ両外務次官,またトーマス海軍次官などの御出席があり,その他マルドナルド前大統領,アルダナ憲法裁判所長官他多数の方々に御参加を頂きました。

当方より, グアテマラと我が国との交流の歴史, これまでのわが 国によるグアテマラへの広範な分野での支援とその成果の一部な どについて御披露致しました。カブレラ副大統領からは, 日本か らのこれまでのグアテマラ支援について深い感謝の言葉がありま した。同副大統領の御挨拶後, 鏡開きと日本酒による乾杯が行わ れ, 会場では, 日本関連企業による日本製品の展示ブースや日本



酒試飲コーナー・日本食コーナーなどもあり、参加者に大好評でした。当地 TV・新聞関係者も多数参加しておりました。当方にとっては当地で 4 回目、最後のレセプションとなりました。多数の参加者からは、当方に対し、これまでのグアテマラ

への支援への感謝の言葉を頂戴し、今年レセプションを成功裡に終えることが出来ました。(了)